

# 西 ～にし～

Good News

## ■武蔵台学園「教職員向け災害時のトリアージ研修について」

毎年実施している教職員総合防災訓練で、今年は青峰学園の養護教諭を講師に招き、実技を中心とした「トリアージ研修」を行いました。

初めは、「トリアージって何?」「自分たちにもできることなのだろうか?」と不安そうな表情の教職員も見受けられました。しかし、東日本大震災の現場では、「教職員が傷病者の搬送順位を判断していた」といった話もあり、当事者になったときにどうすればよいのかを考えながら、真剣に取り組みました。

研修の最初に、傷病者に触れる前に見た目で判断をすること、初期評価（トリアージ）は時間をかけずに行うことを練習しました。

学校におけるトリアージは、赤・黄・緑で判断します。訓練時は、傷病者役と救助者役に分かれて、傷病者役は、呼吸数を意図的に速くしてみたり遅くしてみたりしながら、自分が想定しているトリアージの段階と救助者が判断した段階が合っているのか答え合わせをしていきました。救助者自身の心拍数が上がっていると、傷病者の脈と勘違いしてしまうことがあるため、その場で小走りしながら、傷病者のもとへ向かってみる練習もしました。

最後は、多数の傷病者がいる場面を想定し、緑の「歩けるけが」の人たちを集め、黄・赤の「歩けないけが」の人たちのもとへトリアージをしに行き、黄・赤の判断をしました。傷病者の想定は、小児、妊婦、外国人、高齢者等を含めて行いました。

教職員からは「難しそうに思っていたが、できそうだと感じた。災害が実際に起きた際は勇気をもって行動したい。」との感想があり有意義な研修となりました。

今後も、トリアージの練習の場を設けるなど、今回の研修を活かしていきます。

(養護教諭・山崎 佳歩)



初期評価の方法を教わる場面



多数の傷病者に対し評価する場面

配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)